

Bシードとして今大会に臨む本校は、7/14(水)に麻生高校と初戦を迎えました。

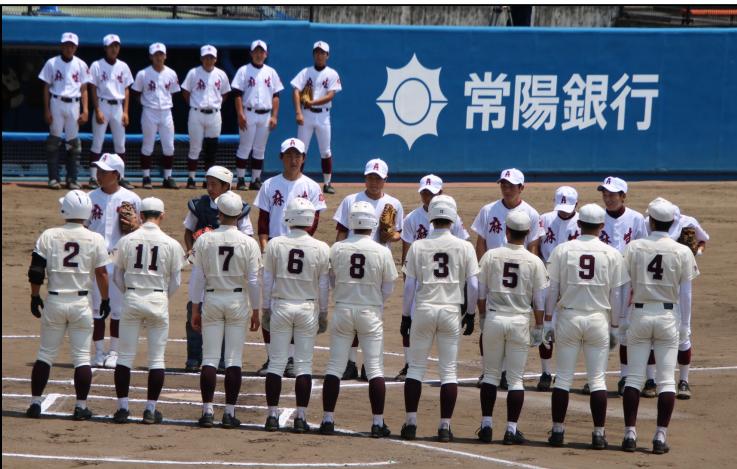
水戸一 400 400 102 11
麻 生 150 001 000 7

初回、主将の2番堺堀(3年)の四球からチャンスを作り、檜山(3年)・田中(3年)のタイムリーで幸先良く4点を先制します。しかし、先発の野口(2年)は制球が定まらず、リリーフした2番手の野々下(3年)も麻生打線に捕まり、2回までに6失点。まさかの逆転を許します。

球場が異様な雰囲気に包まれる中、重いムードを振り払ったのは、9番佐藤(3年)の一打でした。4回1アウト1.2塁、8番村田(1年)が送りバントを失敗した後の初球、甘く入った球を捉え左中間に同点のタイムリー2ベースを放ちます。後輩のミスを帳消しにする、まさに最上級生らしい活躍でした。その後、3番高村(2年)にも勝ち越しのタイムリー3ベースが飛び出して主導権を握り返します。

これで落ち着きを取り戻したバッテリーは、4回以降麻生打線の反撃を1点に抑え、11-7で初戦を突破しました。

▼いよいよ試合開始。



▼好リリーフの野々下(3年)



▼ショート・高村(2年)を中心に粘り強く守ります。



▼初戦突破！麻生高校の勢い、しぶとさも見事でした。

